



創立120周年

# 東京歯科大学広報



東歯祭を無事終えて、安堵の表情の東歯祭実行委員のメンバー：平成20年11月2日（日）、千葉校舎管理棟玄関前野外ステージ

## 第40回東歯祭開催

第40回東歯祭が、平成20年11月1日（土）・2日（日）の2日間にわたり開催された。今回の東歯祭は、「-KIRA煌MEKI-」のテーマの中、渡邊美貴実行委員長（3年）を中心に約50名の実行委員が一丸となって、企画・準備・運営にあたった。両日とも天候に恵まれ、2日間を通して約3,000名の見学者を動員し大盛況の大学祭となった。

### ■興味津々の展示コーナー

例年、本学では、大きく分けて2種類の展示が行われている。まず、学生が講座の協力を得て

行う、いわゆる「講座展示」と文科系クラブが主体となって、学生が日頃のクラブの活動成果などを発表する「クラブ展示」である。

「講座展示」では、例年以上に学生と教員が一体となって展示を作り上げており、法人類学研究室の展示における「顔診断」など、来場者が自ら参加しながら楽しめる展示も見られた。「クラブ展示」においても、国際医療研究会におけるアジア各国での活動内容の紹介に加えて、コンピューター部、写真部、自然愛好会などが参加した。各クラブは自分達の活動成果を、パワーポイント

2008年10・11月

233号

本号の主な内容

- ・第40回東歯祭開催
- ・延世大学校歯科大学病院職員来校
- ・モスクワ国立医科歯科大学総長等来校

トを使ったり、レイアウトを工夫するなど来場者を楽しませた。展示においては、東歯祭に懸ける学生たちの熱意を感じることができた。

また、今回の東歯祭では、文科系クラブだけでなく運動系各クラブも日頃の活動内容を展示しており、来場者は興味深げに展示ひとつひとつを覗いていた。



解剖標本室にて、熱心に説明する学生：平成20年11月1日（土）、千葉校舎実習棟3階

■様々な企画が目白押し

1日には、管理棟玄関前野外ステージにおいて、千葉市立稲毛高校と千葉県立千葉西高校の吹奏楽部による演奏が行われ、2日には千葉校舎講堂において、「世界のナベアツ」こと渡辺 鐘率いる「ジャリズム」、和製ビョンセとして人気のある「渡辺直美」、その他「ハイキングウォーキング」「フルーツポンチ」4組のお笑いライブショーが行われた。いずれも多くの来場者を集め、大いに盛り上がった。グラウンドにおいては、恒例のフットサル競技会が開催され、学内から多くの参加者が集まり2日間にわたって熱戦を展開した。この東歯祭は、日頃の成果を披露する絶好の機会ともいえ、講堂ではその他に、混声合唱部の定期



素晴らしい音色を奏でた県立千葉西高校吹奏楽部：平成20年11月1日（土）、千葉校舎管理棟玄関前野外ステージ

公演会や管弦学部の公開リハーサル、ダンス部のパフォーマンスが催された。

また野外ステージでは、BIG BAND JAZZ部が日頃の成果を披露し、変わったところでは「筋肉番付」「男のミスコンテスト」といった企画も行われ、来場者の関心を引いていた。

また、例年好評の大学院学生会による「無料歯科相談」歯科衛生士専門学校による「ブラッシング指導」も多く来場者から関心を集めていた他、2日には入試ガイダンスも行われ、多くの受験生と保護者が参加した。（詳細は14ページ）



「世界のナベアツ」を見に来た来場者に整理券を渡す実行委員：平成20年11月2日（日）、千葉校舎講堂

■連日賑わった模擬店

各クラブ等による模擬店が14店出店され、連日賑わいを見せた。今年も各クラブ、創意工夫を凝らしており、中でも人気があったのは「たこ焼き（少林寺拳法部）」や「焼きうどん（硬式野球部）」で人だかりを作っていた。また、玉こんにゃく（自然愛好会）やチョコバナナ（バレーボール部）など、ユーモアに富んだメニューを作り出す部活動もあり、来場者の関心を引いていた。全てのクラブ・団体とも先輩から受け継がれた「伝統の味」



大人気の「少林寺たこ焼き」を売る少林寺拳法部員：平成20年11月1日（土）、千葉校舎管理棟玄関前

で勝負するなど今年の東歯祭をいろいろしていた。



「焼きうどん」を豪快に作る硬式野球部員：平成20年11月1日（土）、千葉校舎管理棟玄関前

### ■感動を呼んだ後夜祭

2日午後5時30分から、管理棟玄関前野外ステージにて佐藤 亨学生部長をはじめとする、学生部・教務部の教職員のもとに後夜祭が行われた。まず始めに、佐藤学生部長より挨拶と総評が述べられた後、大学に対して感謝の意を込めて、記念品が渡邊美貴実行委員長から佐藤学生部長に手渡された。その後、展示部門・模擬店部門の優秀団体を佐藤学生部長が発表、そして賞状を授与した。また、井上 孝国際渉外部長より一昨年度から始まった英語ポスターコンペティションの表彰も後夜祭にて行われた。（表彰団体・表彰者は右記のとおり）

そして、日も暮れた暗闇の中で、実行委員を代表して渡邊実行委員長が演台の中央に立った。渡邊さんを始め、実行委員会の執行部のほぼ全員が、東歯祭の実行委員として携わること3年目。その万感の想いを込めての挨拶をしている渡邊さんの姿は、勇ましく印象的であった。



後夜祭にて、東歯祭を振り返り挨拶する渡邊実行委員長：平成20年11月2日（日）、千葉校舎管理棟玄関前野外ステージ

最後は、教職員・学生が声を合わせて校歌を斉唱、小田 豊教務部長による乾杯の発声で東歯祭は終了した。

### クラブ展示部門

- 第1位 国際医療研究会
- 第2位 延世大学校歯科大学との学生交流
- 第3位 自然愛好会

### 講座・研究室展示部門

- 第1位 法人類学研究室
- 第2位 口腔超微構造学講座
- 第3位 微生物学講座

### 模擬店部門

- 第1位 少林寺拳法部「少林たこやき」
- 第2位 歯科衛生士専門学校「焼きそば」
- 第3位 硬式野球部「焼きうどん」

### 英語ポスターコンペティション

- 優勝 齋藤 馨さん（2年）

### 「第40回東歯祭を終えて」

東歯祭実行委員長・渡邊美貴さん

東歯祭は本年度で第40回という節目の年にあたり、実行委員会内部から東歯祭の企画において幅広く挑戦した年でした。

本来学園祭とは、『学生主体で自由』であるべきものだと思います。東歯祭の要となる実行委員会のスタッフは強制ではなく、自由参加で募集したいという思いから有志を募りました。発足当初は思うようにスタッフが集まらず、何度も悩みましたが多くの方に支えて頂き、有志49名を集めることが出来ました。少数精鋭という言葉が正にあてはまりますが、一人一人のモチベーションが非常に高く、少数とは思えないような動きで東歯祭を運営することができました。素晴らしい仲間に出会え、共に働き、支えられたことに感謝しております。

また、本年度から衛生士校の学生にも、実行委員会のスタッフとしてお手伝い頂きました。昨年度までは、学部の実行委員会と衛生士校の実行委員会は独立したものでした。しかし、同じキャンパスで学び、部活動に励み、将来共に

臨床現場で働く仲間であるのに別々に活動するのは淋しく、疑問を感じていました。そこで、衛生士校学生部長の御協力の下、衛生士校にて呼びかけを行い7名の学生に参加して頂きました。チーム医療が叫ばれる昨今、その基盤は学生時代に築かれるものではないでしょうか。相手のことを理解し、信頼していなければチームとしては成り立ちません。東歯祭を通じて、学部と衛生士校の両学生がお互いのことを考え、行動できたということは非常に良い経験になったと思います。将来、臨床の現場に立つ時に今回の経験を忘れず、活かせたらと思います。そして、これを機会に、来年度以降も多くの衛生士校の学生に参加して頂き、学部と衛生士校の学生の交流を深め、共により良い東歯祭を築き上げていけたらと思います。

今回、歯科大生らしい企画ということで『歯茎彫刻大会』を行いました。今大会は当初、学内の学生向けの企画として立ち上げました。専門的な企画でしたので、一般の方からは敬遠される

企画だと思っていましたが、当日は多くの近隣住民の方々、父兄会の先生方にも観覧して頂き、多くの反響が寄せられました。今大会のために、参加者が再び口腔解剖のテキストを開いて勉強している姿を見た時、歯科大らしい学園祭だと感じました。模擬店が賑わうことも大切ですが、私達が日頃学習していることを実演で発表することも意義のあることだと思いました。

最終日、連日の作業の疲れがピークに達し、スタッフの顔はとても疲れきっていました。しかし、それ以上にとっても凛々しく、頼もしく見え、東歯祭を通してスタッフ全員の成長が見受けられました。改めてこのメンバーで東歯祭を運営出来たことに喜びを感じております。

最後になりましたが、学生課を始め施設課、守衛室、各講座の先生方、父兄の皆様、私達を支えてくださいました全ての方々へ、この場をお借りして感謝の意を述べたいと思います。ありがとうございました。

## ■東歯祭スナップ



ダンシング 日頃の練習の成果を発揮したダンス部：平成20年11月1日（土）、千葉校舎講堂



美味しい「ホットドッグ」を作ったバスケットボール部員：平成20年11月1日（土）、千葉校舎管理棟玄関前



軽やかなハーモニーを奏でたビッグバンドジャズ部：平成20年11月2日（日）、千葉校舎管理棟前野外ステージ



歯の正しい磨き方わかったかな？：平成20年11月2日（日）、千葉校舎基礎棟ラウンジ

## ■教授就任のご挨拶



市川総合病院

外科

松井 淳一

この度、教授会のご推挙によりまして平成20年11月1日付けで外科学講座教授に就任いたしました。安藤暢敏市川総合病院院長（東京歯科大学理事）のご推薦、ならびに北川雄光慶應義塾大学外科学教授、同医局のご厚意のお陰様と感謝申し上げます。過日、金子 譲学長からからしかり頑張るようにとの激励とともに辞令を頂戴しました。責任の重さに身の引き締まる思いがありますが、やりがいの大きさに高揚いたしております。

私の担当する消化器外科学は、歯科口腔医学とは密接に関係しており、歯科の学生や大学院生、および臨床研修医が消化器への理解を深めて全身的視野に立脚した歯科診療ができるように教育して行きたいと考えています。また、外科系医師不足が憂慮される今日、外科診療への理解を得、後継者を育てるためには、われわれ外科教育者自身が豊富な臨床経験を有するだけでなく、体系的で深い知識、および確実で先進的な技術を後進に伝えるように務めて教育の現場に臨まなくてはならないと考えています。

私はこれまで、膵・胆道・肝領域の外科臨床の中で研究を行ってまいりました。特に膵頭部領域疾患に対する膵頭十二指腸切除術に関する膵管空腸粘膜吻合法、あるいは今永法消化管再建法の確立と手技の工夫・発展を図り安全で確実な術式と評価できるようにして来ました。今後も手術後早期から長期間の膵空腸吻合部の形態、開存性、残膵内・外分泌機能と胆道機能、および温存全胃から上部消化管機能、などに関して内視鏡を用いた検討、ならびに生理学的な検討を進展させて行きたいと考えています。さらにこれまで一貫して取り組んで来ながら相変わらず治療成績不良な膵・胆道癌について、積

極的な拡大切除と化学療法、放射線治療などを積極的に組み合わせて新たな治療体系を構築したいと思います。

その上で、多様化する患者の希望や社会の医学へのニーズに対応するために、外科だけでなく歯科口腔外科など他診療科、ならびに多職種との連携を図ってチーム医療の体制を確立し、より合理的で良質な医療を提供し、地域の基幹病院である東京歯科大学市川総合病院の発展に寄与して参りたいと存じます。

皆様方にはなお一層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

### 略歴

- 昭和54年 3月 慶應義塾大学医学部卒業
- 昭和54年 4月 第67回医師国家試験合格（医籍登録248909号）
- 昭和54年 5月 慶應義塾大学医学部外科学教室入室
- 昭和60年 5月 大田原赤十字病院外科 第2外科副部長
- 昭和61年 8月 栃木県立がんセンター外科 医員
- 昭和64年 1月 カナダトロント大学医学部消化器科留学
- 平成 3年 4月 栃木県立がんセンター外科 手術室医長
- 平成 6年 4月 第25回日本膵臓学会大会会長賞受賞
- 平成 8年 6月 栃木県立がんセンター外科 第4病棟医長兼務
- 平成 8年 7月 慶應義塾大学外科学教室刀林賞受賞
- 平成11年 6月 大田原赤十字病院 第1外科部長
- 平成12年 4月 博士（医学）の学位受領（慶應義塾大学）
- 平成16年 9月 慶應義塾大学医学部外科学教室 非常勤講師
- 平成17年10月 大田原赤十字病院 内視鏡センター部長兼務
- 平成18年 5月 さいたま市立病院 副院長兼外科部長
- 平成18年 9月 慶應義塾大学医学部 客員助教授（外科学）
- 平成19年 4月 慶應義塾大学医学部 客員准教授（外科学）

## 学内ニュース

### ■博士(歯学)学位記授与

○第578回 平成20年10月15日(水)授与

第527回(H16.3.17)合格

和泉正丈(矯正)第1594号 甲904号

第538回(H17.3.23)合格

半田麻里子(歯麻)第1634号 甲933号

第569回(H20.1.16)合格

原麻子(児歯)第1743号 乙724号

第572回(H20.3.26)合格

國分克寿(臨検)第1796号 甲1070号

○第579回 平成20年11月5日(水)授与

第547回(H18.1.25)合格

衣松高志(保存Ⅱ)第1653号 甲949号

第570回(H20.2.14)合格

田村洋平(歯麻)第1762号 甲1037号

第570回(H20.2.14)合格

奥田真平(解剖)第1786号 甲1061号

### ■高崎義人講師 日本口腔外科学会ポスター優秀賞を受賞

平成19年9月29日(土)、30日(日)に名古屋国際会議場で開催された第52回社団法人日本口腔外科学会総会・学術大会において、水道橋病院口腔外科の高崎義人講師の発表した“下顎骨切除時における下歯槽神経修復手術後の静的触覚閾値変化”がポスター優秀賞(ゴールドリボン賞)を受賞した。これは(社)日本口腔外科学会学術奨励賞等選考委員会により優秀な発表と評価された演題の筆頭演者に授与されるものである。



受賞した高崎講師：平成19年9月30日(日)、名古屋国際会議場

下顎骨に発生する腫瘍に対しては顎骨切除術が行われるが、下顎神経も同時に切除され知覚機能が犠牲になっていた。近年マイクロサージャリー技術の進歩により知覚機能の温存が可能となってきた。しかし、知覚がどの程度回復するかについての詳細な臨床報告は認められない。受賞対象となった研究内容は、下顎骨切除時の下歯槽神経の損傷に対する顕微鏡下神経修復術後の知覚機能の回復を統計学的に解析したものである。現在、インプラントによる下歯槽神経損傷例が急増してきており神経修復手術が適応されることも少なく無い。今後はこれらのEBMの確立が期待される。

### ■市川総合病院防災訓練実施

平成20年9月3日(水)に、市川総合病院において市川市西消防署立ち会いによる防災訓練が実施された。まず、午後1時30分より、大規模な地震が発生した際の防災センターへの通報訓練が行われた。続いて、午後2時から、病院裏駐車場において地震体験車(起震車)による地震体験訓練と煙体験ハウスによる煙・ガスからの避難体験訓練が行われた。午後3時から、栄養管理室前のサービスヤードに移動し、消火器の取扱い訓練と屋内消火栓の放水訓練が行われた。消防署員による詳細な消火器取扱い説明に参加者は真剣な眼差しで聞き入り、その後の消火器による実際の消火訓練、特に屋内消火栓を使った放水訓練ではその水圧に驚きの声があがっていた。午後4時から、火災発生を想定した初期消火活動から、患者を誘導した避難訓練が行われた。今年度は看護部の協力により、実際に病院壁面の非常階段(スロープ)を使用して模擬患者と一緒に避難するなど、実践的な訓練が盛り込まれ、反省点を含め、様々な点に気づかされる訓練となった。最後に市川市西消防署と安藤暢敏市川総合病院長から講評を得て防災訓練は終了した。引き続き、午後5時30分より、市川総合病院講堂において、看護部教育委員会の主催により、「災害が起きたら… どうすればいい??」と題した災害看護講座が、杉山京子看護師の講演により開催された。

平成20年11月13日(木)午後5時30分からは、7階東病棟において自主防災訓練が実施された。守谷二郎防災センター長の指導により、病棟における消火栓・消火器の設置場所や使用方法の確認、発災時の中央ブザー作動状況や防災センターへの連絡方法の確認、防火扉の場所や開閉の訓練、排煙口の場所や使用方法確認、スプリンクラーや煙感知器の設置場所確認等が行われた。



訓練後に講評を受ける参加者：平成20年9月3日(水)、市川総合病院外来ラウンジ

### ■第277回大学院セミナー開催

平成20年10月1日(水)午後6時より千葉校舎第1教室において、第277回大学院セミナーが開催された。今回は大阪大学大学院歯学研究科 顎口腔機能再建学講座歯科補綴学第二教室の前田芳信教授を講師にお迎えして、「顎口腔系のバイオメカニクスからみたインプラント」と題する講演を伺った。

講演の冒頭で、インプラントは少数歯欠如症例から無歯顎、顎顔面補綴にいたるまでの多様な状況への補綴の支台装置として多くの役割が求められているが、生物学的ならびに力学的な制限や限界も、従来の補綴治療と同様に存在す



講演される前田教授：平成20年10月1日(水)、千葉校舎第1教室

るという見解を示された。この点を理解し、コントロールできればインプラントを長期的に利用することができるとともに、歯や顎骨の欠損の拡大を防ぐことも可能であり、遊離端欠如症例から無歯顎症例へと経年的に変化したとしても、その口腔内状況に対応できるインプラント治療計画を立案できるという、大変興味深いお話を伺うことができた。

さらに抜歯後無処置部位とインプラント埋入部位の骨吸収の比較や、現在注目を集めるAll on 4との比較などを、エビデンスに基づき大変分かりやすく解説いただき、内容の濃い有意義な1時間半のセミナーであった。

### ■第278回大学院セミナー開催

平成20年10月3日(金)午後6時より千葉校舎第2教室において、第278回大学院セミナーが開催された。今回は朝日大学歯学部口腔構造機能発育学講座の江尻貞一教授を講師にお迎えして「骨粗鬆症と顎骨ーエストロゲン欠乏やビスフォスフォネート投与による顎骨変化ー」と題する講演を伺った。

講演前半のトピックスとして骨粗鬆症が顎骨形態に与える影響を挙げ、多くの鮮明なSEM像を用い、最新の研究データを分かり易く解説していただいた。その中でエストロゲン欠乏によって顎骨各部は吸収の方向へ向かうが、歯や補綴物からの機械的負荷によって吸収が免れる部位があるとのことであった。講演後半では、現在歯科界で話題となっているビスフォネート投与による顎骨壊死のメカニズムについて最新の知見を解説していただいた。大変内容の濃い有意義な1時間半のセミナーであった。



講演される江尻教授：平成20年10月3日(金)、千葉校舎第2教室

### ■第6回試験問題作成に関するワークショップ開催

平成20年10月4日(土)、5日(日)、クロスウェーブ幕張において、第6回試験問題作成に関するワークショップが開催された。本ワークショップは、文部科学省の平成17年度特色ある大学教育支援プログラムで選定された本学の取組「IT環境でのグローバルエバリュエーション」を更に充実・発展させる事業のひとつとして実施するものである。

今回は、本学の基礎、臨床教育職員28名を対象とし、歯科医学における基本的な知識の理解と総合的な診断能力・問題解決力を総括的に評価するための多肢選択式試験問題作成のスキルアップ、更にその試験問題の重要性に配慮し厳正に管理する能力の向上を目指し、個人演習および4グループによるブラッシュアップ等の実践的なワークショップを行った。参加した受講者からは、「グループディスカッション及びタスクフォースの補助等により問題を作成していく中で、問題の質の向上が実感できた」「問題作成の流れと注意点が短期間で非常に良く理解できた」等の感想が挙げられた。

最後に、受講者に修了証書が授与され2日間の日程を終了した。本ワークショップにより、教員個々の問題作成・管理能力の向上を図り、ひいては、本学における学生の公正な学習評価のより一層の充実を目指している。



グループ討議風景：平成20年10月5日(日)、クロスウェーブ幕張

### ■第279回大学院セミナー開催

平成20年10月7日(火)午後6時より千葉校舎第2教室において、第279回大学院セミナーが開催された。今回は愛知学院大学歯学部微生物学講座の吉村文信教授を講師にお迎えして「粘菌周病原細菌の表層構造について」と題する講演を伺った。

最初に細菌の解析の重要性をその分類学的位置や構造からの解説していただき、それに続いて慢性歯周炎の主要な病原体である *Porphyromonas gingivalis* と *Tannerella forsythia* の表層構造やその調節機構についてのお話を伺った。またその病原性があまり明らかにされていない *T. forsythia* では、その表面にある2つのタンパクによって形成されている S-layer と赤血球凝集能との関わりについて、また、*P. gingivalis* では、外膜タンパクの解析と線毛の研究について歴史的な流れと最新の知見を聞くことができた。*P. gingivalis* は線毛を2種類持ちその遺伝子型も違うことが知られているが、その微量構成成分の機能についてまで話が及ぶ、簡明で informative な講演であり大変有意義な1時間半であった。



講演される吉村教授：平成20年10月7日(火)、千葉校舎第2教室

### ■第77回歯科医学教育セミナー開催

平成20年10月8日(水)午後6時より千葉校舎第1教室において、第77回歯科医学教育セミナーが開催された。今回は、「日本大学歯学部卒前教育—学生生活の6年間—」と題し、日本大学歯学部歯科放射線学教室本田和也教授より説明が行われた。

まずはじめに、日本大学歯学部において行われている養成すべき人材像、学習方針、カリキュラム及び行事予定等について説明があった。日本大学歯学部の特徴として、学生が積極的に授業に参加して学習できる環境ができていて、その一因としてTAのリードが良い結果をもたらしていること等の説明があった。国家試験対策として模擬試験、本試験等を行い、その同日に解説をするのに加え、講義においては、基礎となる必修問題について集中的に指導しているとのことで



あった。また、学生指導として各学年において核となる学生を見つけて指導していることも良い結果をもたらしている一因となっているとのことであった。そして、6年次には学生総務委員会(研修小委員会)が設立され、総務委員会(チーム)がクラスをまとめ上げていくという学生主体の運営が行われていることがモチベーションの高さを維持することに繋がっているのではないかとのことであった。

当日は80名近い参加者が集まり、質疑応答も活発に行われ大変有意義なセミナーとなった。



説明される本田教授：平成20年10月8日(水)、千葉校舎第1教室

### ■第280回大学院セミナー開催

平成20年10月14日(火)午後6時より、千葉校舎第2教室において、第280回大学院セミナーが開催された。今回は国際医療福祉大学薬学部長の武田弘志教授をお迎えして「抗ストレス薬の創薬育薬科学」と題する講演を伺った。

紫蘇の葉と枝先に多く含まれるカフェー酸には、抗不安作用と現在同定されている140種類の受容体、イオンチャネルおよびトランスポーターなどの機能分子に対して親和性を示さないこと、



講演される武田教授：平成20年10月14日(火)、千葉校舎第2教室

アドレナリン $\alpha$ 1A受容体を介した情報伝達機構に影響を及ぼすことにより、抗うつ様効果および抗不安様効果を発揮すること、ストレス刺激の負荷により誘発されるBDNF転写活性の低下を抑制する効果を有することについて解説された。新薬の開発につながる夢が語られた1時間であった。

### ■「大学と同窓会クラス代表との懇談会」を開催

「第4回大学と同窓会クラス代表との懇談会」は平成20年10月16日(木)に水道橋校舎血脇記念ホールにて開催された。各卒業年次の同窓クラス代表者ならびに同伴者約80名もの参加を得て、同窓の先生方の大学への関心の深さを実感した。

本年は大学から金子 譲学長、井出吉信副学長、石井拓男千葉病院長が、同窓会から大山萬夫会長、関 泰忠専務理事が出席した。

井出副学長による開会の挨拶の後まず金子学長から「大学を取りまく諸問題と大学の現況」というテーマで現在の歯科医学教育、歯学部の実務問題、研究、国際交流、120周年記念事業、水道橋への移転などについて資料を元に詳しく説明された。



熱心に説明を聞く参加者：平成20年10月16日(木)、血脇記念ホール



懇親会で挨拶をされる熱田理事長：平成20年10月16日(木)、東京ドームホテル

続いて井出副学長から「学生教育の現状」について、石井千葉病院長から「医療連携」について説明があった。その後の質疑応答には数々の質問があり、予定時間をオーバーして終了した。

懇談会終了後、東京ドームホテルに会場を移した懇親会には、公務で懇談会に出席できなかった熱田俊之助法人理事長も出席され、参加者各位が和やかに歓談し、第4回大学と同窓会クラス代表との懇談会は盛会裡に終了した。

### ■第286回東京歯科大学学会総会開催

平成20年10月18日(土)・19日(日)の両日、千葉校舎と水道橋校舎において東京歯科大学学会総会が開催された。

初日の口演は第1・2教室、示説はラウンジ2・3を会場として発表された。今回発表された口演は28題、示説は18題であった。午後からは平成20年度東京歯科大学学会評議員会・総会が第1教室で、第2教室では市川総合病院眼科の富田真智子助教による「アcantアメラ角膜炎と涙腺炎」と題した学長奨励研究賞受賞講演が開催された。その後、講堂において保存修復学講座・平井義人



中国西安第四軍医大学口腔医学院の演者と金子 譲座長：  
平成20年10月19日(日)、血脇記念ホール



シンポジウムでディスカッションする講師と石井拓男座長：  
平成20年10月19日(日)、血脇記念ホール

教授による「保存修復学講座の研究から歯科用レーザーの現状と展望—Er:YAGレーザーに関して—」の特別講演が開催された。

第2日目は水道橋校舎の血脇記念ホールを会場として、午前中は姉妹校の中国西安第四軍医大学口腔医学院による2題の特別講演が同時通訳付きで行われた。午後からは東京女子医科大学東医療センター精神科の山田和男准教授による「歯科・口腔外科領域における身体表現性障害の診断と治療」と題した招待講演が行われ、引き続き開催されたシンポジウム「高齢者の摂食・嚥下障害と医療連携」では活発なディスカッションが行われ、総会は盛会裡に終了した。

### ■市病フォーラム2008開催

平成20年10月18日(土)午後2時より、市川総合病院講堂に於いて、市病フォーラム2008が開催された。

今回はDPCをテーマとして、「DPC導入により何が変わったか?何が見えてきたか?」と題して行われた。安藤暢敏市川総合病院長の挨拶にはじまり、実行委員長の野川 茂准教授(内科学講座) [DPC対策委員長]の司会進行のもと、DPC制度そのもの、あるいは導入後明らかになってきた問題点等について、各部門から幅広い講演が行われた。

野上実行委員長による全般的な講演に始まり、フォーラムは2部構成で行われた。第1部は「各部門での取り組み」として、DPC導入に際して診療各科、看護部、薬剤部がどのように対応してきたか等について、様々な角度から講演が行われた。また、第2部は「今後の課題」として、医事課、クリティカルパス委員会、地域連携・医



説明する野川実行委員長：平成20年10月18日(土)、市川総合病院講堂

療福祉室、医療情報システム管理課から今後の方向性について講演が行われた。

80名を越える参加者からは、大いに関心が寄せられ、大変有意義なものとなった。

最後に、講演者への感謝状の贈呈の後、濱野孝子副病院長(看護部長)から挨拶をいただいて、閉会となった。

### ■第53回(社)日本口腔外科学会総会で片倉 朗准教授がゴールドリボン賞を受賞

平成20年10月20日(月)、21日(火)に徳島市で行われた第53回(社)日本口腔外科学会総会で、口腔外科学講座の片倉 朗准教授が「唾液を用いた口腔癌のスクリーニング検査-プロテオームによるenolase1の発現の解析-」と題した発表でゴールドリボン賞を受賞した。ゴールドリボン賞は学術的価値が高く、かつプレゼンテーションに優れたポスター発表に贈られる賞である。片倉准教授らは唾液中に発現する口腔癌のバイオマーカーを見つけ出し、これを用いた診断法を開発して一般の歯科診療所でも唾液を検体として簡便に行なえる口腔癌のスクリーニング検査システムを確立するために本研究を進めてきた。今回の学会では、口腔癌患者の全唾液中に口腔癌組織に由来するタンパク質であるenolase1が認められることを二次元電気泳動、リアルタイムPCR、免疫組織化学染色を用いて多角的に検証し、その臨床応用への可能性の高さを示唆した。

この一連の研究は本学会で一昨年と昨年にメダルティス賞とゴールドリボン賞を受賞しており、今回で3期連続しての受賞となった。今後はマイクロ流体デバイスのチップに本タンパク質を導入した試作機を企画し臨床での応用を図る



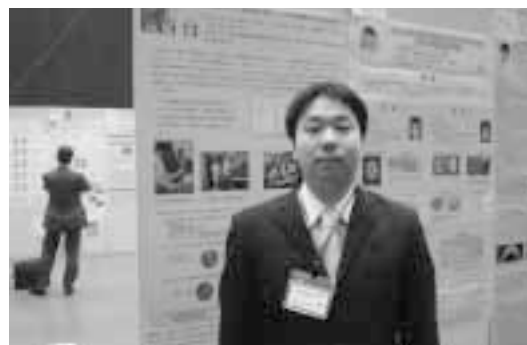
共同研究者の作間 巧 シニアレジデント(左)と菅原圭亮 シニアレジデント(右)とともに：平成20年10月22日(水)、口腔外科学講座実験室

予定である。

### ■第53回(社)日本口腔外科学会総会で高久勇一朗助教がゴールドリボン賞を受賞

平成20年10月20日(月)、21日(火)に徳島県徳島市で第53回(社)日本口腔外科学会総会学術大会が行われた。本学口腔健康臨床科学講座口腔外科学分野からは2題の演題発表と高野正行准教授によるミニレクチャーが行われた。この中で高久勇一朗助教が優秀なポスター発表に与えられるゴールドリボン賞を受賞した。「歯科医院で行う口腔癌個別検診への生体染色の応用の試み」の題目で歯科医院における口腔癌の早期発見および診断の方法として、ヨード・トルイジンブルー染色による口腔癌個別検診を取り入れ、歯科医師会主催のもとで講義と実習を行った内容を発表したものである。

歯科医院における口腔癌検診は今後さらに普及が必要な分野であり、生体染色が口腔癌検診の有効な手段になることが期待される。



受賞した高久助教：平成20年10月21日(火)、アスティとくしま

### ■平成20年度 8020いちかわ 口腔がん・口腔粘膜疾患検診

平成20年10月26日(日)に和洋女子大学西館2階において、平成20年度 8020いちかわ 口腔がん・口腔粘膜疾患検診が実施された。本検診は市川市歯科医師会が主催となり、市川市と東京歯科大学市川総合病院歯科・口腔外科(オーラルメディシン・口腔外科学講座)ならびに東京歯科大学口腔がんセンターが共催、(社)日本口腔外科学会千葉県支部が後援し、平成10年より行なわれ、今回が11回目となる。なお本年は市川市が主催したWHO・第3回健康都市連合国際大会

内の行事としても位置づけられた。

本検診は事前に申し込みを行なった受診者を対象とした集団検診で、例年200名前後が対象となっている。本年は60歳代を中心に249名に対し検診が行なわれた。過去12回の検診で、悪性転化した白板症1例を含めた3例の口腔がんを発見してきたが、それ以上に本検診は市民に対する口腔がんの有効な啓発活動となっている。当日は12時から16時の4時間で検診を実施したが、市川市歯科医師会の実行委員会によるスムーズな運営により、滞りなく行なわれた。また会場では、市川市歯科医師会会員の有志の診療所を中心に行なわれている、細胞診を診断手技の一つとした「市川市口腔がん早期発見システム Oral Cancer Detecting System IGHKAWA Network (OCDSIN)」の紹介も行なわれ、東京歯科大学市川総合病院臨床検査科病理の田中陽一教授も加わり、市民を含めた参加者と活発な意見交換が行なわれた。



検診風景：平成20年10月26日（日）、和洋女子大学



検診参加者集合写真：平成20年10月26日（日）、和洋女子大学

### ■第281回大学院セミナー開催

平成20年10月27日（月）午後6時より、千葉校

舎第2教室において、第281回大学院セミナーが開催された。今回は、大阪大学大学院歯学研究科 顎口腔病因病態制御学講座歯科薬物学教室の上崎善規教授を講師にお迎えして「一酸化窒素による痛覚および炎症反応情報伝達系の制御」と題する講演を伺った。

その概要は、ラットの歯槽神経を緩く結紮すると支配領域の皮膚に知覚過敏状態を作り出すことができる。このモデルを使って脳幹部の脊髓路核に刺入したマイクロダイアリスのプローブを用いて、末梢刺激により放出されるグルタミン酸の変化を測定し、NOにより変化量が修飾を受けることについて解説した。また、炎症時には、白血球やマクロファージから産生されたO<sub>2</sub><sup>-</sup>とNOから産生されたパーオキシナイトライト(ONOO<sup>-</sup>)により、核内受容体のタンパク質のチロシン残基がニトロ化され、核内輸送が妨げられることにより炎症が増悪される経路のあることを示した。最後に、留学中の師であり、1998年ノーベル医学賞受賞者であるFerid Muradにまつわるエピソードを紹介して、密度の高い講演を終了した。



講演される上崎教授：平成20年10月27日（月）、千葉校舎第2教室

### ■市川集中治療セミナー2008開催

平成20年10月28日（火）午後6時30分より市川総合病院講堂において、市川集中治療セミナーが開催された。平成17年より毎年開催されているが、今回は未だに死亡率が高い敗血症に焦点を当てて教育講演と特別講演が行われた。

まず、教育講演は芹田良平講師（市川総合病院麻酔科）による「最新の敗血症治療戦略の紹介～Surviving Sepsis Campaign：2008～」と題した講演で、敗血症時の最初の6時間に行うべき治療と、

逆に行ってはいけない治療のガイドラインについて概説された。

特別講演は、慶應義塾大学医学部外科学の北川雄光教授による「周術期における呼吸器系および心・血管系合併症の予防とその対策」と題した講演が行われた。まず、侵襲の大きな手術の代表である食道がん根治術における合併症発現を予測する因子として、high morbidity group box protein-1 (HMGB-1)の有用性、および予防的な好中球エラスターゼ阻害薬であるシベレスタットナトリウムや低用量ステロイドの効果が、豊富な臨床データから紹介された。次に、近年増加している高齢患者における合併症、およびその対策としての超短時間作用型 $\beta$ 遮断薬であるランジオロールの有用性、さらには術後早期からの経腸栄養の有用性について概説された。そして、最後に集中治療医や看護師、栄養士などの多職種が外科医療を支えているとまとめられた。

本セミナーには例年通り、他院の医師の参加も含め56名が参加し、予定時間を超過しての質疑応答が活発に行われ、有意義なセミナーとなった。



特別講演をされる北川教授：平成20年10月28日（火）、市川総合病院講堂

#### ■衛生学講座 大澤博哉大学院生 大韓口腔保健学会ポスター賞を受賞

「第45回 大韓口腔保健学会 (The 45th Annual Meeting of Korean Academy of Dental Health)」が平成20年10月31日（金）～11月1日（土）まで慶州のTEMF HOTELで開催された。本学会において、大澤博哉大学院生（衛生学講座）がポスター賞第1位を受賞した。海外からの発表者としては初めての受賞である。本賞はポスター発表の中から選考委員により厳正な審査のもとに行われた。発表演題名は「Relationship between Independent

Elderly, Semi-institutionalized, and Completely Institutionalized Elderly and Their Oral Status in Tokyo」である。

本調査は東京都文京区の介護施設に入所、通所する65歳以上の高齢者を対象としてアンケート調査を行い、施設入所者と在宅で生活をしている高齢者においてADL、認知症の有無、口腔状態の満足度、かかりつけ歯科医の有無に相違があることを示したものである。



大韓口腔保健学会理事長の權皓根 (Ho Keun Kwon) 教授 (延世大学予防歯科学) (右) より、賞状を受ける大澤大学院生 (左)：平成20年10月31日（金）、慶州のTEMF HOTEL

#### ■市川総合病院 教職員親睦旅行実施

市川総合病院教職員の親睦団体である木曜会の主催による、恒例の教職員親睦旅行が多数の参加のもと実施された。今年度は、例年の一泊二日旅行の他に、旅行に参加しやすくするため新たに日帰り旅行を加えて行われた。

まず、一泊二日旅行は3班に分かれ、第1班は平成20年10月25日（土）～10月26日（日）、第2班は11月1日（土）～11月2日（日）、第3班は11月8日（土）～11月9日（日）の日程で、福島方面への旅行となった。各班とも、初日は東京駅より新幹線「なすの」に乗車して一路福島へ。紅葉を楽しみつつ、大内宿、野口英世記念館などの観光地を散策をしながら宿泊地である穴原温泉に到着。夜の宴会では職種の違う者同志が、それぞれ盛り上がり大変楽しく、そしてくつろいだ親睦旅行であった。二日目は片岡鶴太郎美術庭園などを見学し、お土産を買いこんだり、喜多方で名物のラーメン等で昼食を取った後、3班とも無事に帰路についた。

日帰り旅行は11月15日（土）に行われた。東京駅に集合後、2班に分かれ、横浜コースでは中華街でフカヒレ&海鮮三昧コースに舌鼓を打った

後に横浜バイクルーズを楽しんだ。東京コースは東京バイクルーズとフレンチコースランチの後、エプソン品川アクアスタジアムを見学した。それぞれ短い時間ながらも楽しい時間を過ごし、東京駅に戻って解散となった。

### ■入試ガイダンス開催

東京歯科大学への入学を希望する受験生を対象として、平成20年度入試ガイダンスが東歯祭期間中の平成20年11月2日(日)に午後1時から千葉校舎第2教室で開催された。

小田 豊教務部長の挨拶の後、まず始めに石田 瞭講師、阿部伸一准教授による「模擬授業」を行い、大学で学ぶ歯科医学専門科目に関する内容の一端を紹介した。続いて、入試科目のポイント・入試概要・大学案内・学生生活の説明の後、学内見学を行い、希望者には個別相談を実施した。学内見学では、実習講義室、臨床基礎実習室、解剖標本室、図書館史料室、千葉病院受付、診療室などを回り、解剖学講座、教職員の協力のもとに、東歯大の伝統、貴重な史料や標本、充実した設備等を示すとともに、本学の無線LAN環境、CBT用PCの設置環境など充実した情報関係設備・環境については、参加者に実際にPCを操作、体験してもらった。



学内見学風景：平成20年11月2日(日)、千葉校舎教養棟前

### ■推薦入学選考、帰国子女・留学生特別選抜、学士編入学

平成20年11月8日(土)、千葉校舎において、平成21年度推薦入学選考・学士編入学試験が実施された。推薦入学選考では、82名(指定校制含む)の志願者があり、午前中に小論文、小テスト、午後には面接試験が行われた。学士編入学試験

では、7名の志願者があり、小論文・小テストおよび面接試験が行われた。学士編入学試験の合格者は、来年度の第2学年に編入する。また、平成21年度入学試験より帰国子女・留学生特別選抜を新たに新設、募集したが、今年度の志願者はいなかった。なお、合格者には11月11日(火)に合格通知が発送された。

### ■第282回大学院セミナー開催

平成20年11月11日(火)午後6時より、千葉校舎第2教室において第282回大学院セミナーが開催された。今回は日本大学松戸歯学部小児歯科学講座の前田隆秀教授をお迎えして「口腔疾患・異常の原因遺伝子解明に向けて」と題する講演を伺った。

齲蝕、歯の先天欠如、顎骨の大小などの個体差の原因を遺伝子に求め、これらが有意に異なる種のマウスを通常のマウスと交配し、コンソミックマウス、あるいはコンジュニックマウスを作製して連鎖解析を行い、原因となる遺伝子を絞り込んでいく手法と結果をわかりやすくご説明いただいた。とくに、歯の先天欠如に関する原因に関しては、第三臼歯が欠如するEL/Seaマウスを用いて解析を重ねられ、3番染色体上に位置するLef 1遺伝子が影響を及ぼしている可能性を指摘された。これらの研究結果は、小児の成長と発育異常や疾患の原因解明、および患者個人の成長予測を行う上で将来必ず大きな礎になるに違いないと思われた。



講演される前田教授：平成20年11月11日(火)、千葉校舎第2教室

### ■第78回歯科医学教育セミナー開催

平成20年11月12日(水)午後6時より千葉校舎第1教室において、第78回歯科医学教育セミナー

が開催された。今回は、「昭和大学におけるPBLの取り組み」と題し、昭和大学歯学部 歯科医学教育推進室長片岡竜太准教授より説明が行われた。

昭和大学は医・歯・薬・保健医療学部からなる医系総合大学であり、「至誠一貫」の精神と創立80年の歴史の中から培われた教育手法に基づき教育を行っている。今回は医系総合大学の特徴を活かしたチーム医療の実践に結びつく教育について説明してもらった。

教員の役割とは、学生が学習に対する動機付けを高めるために助言、刺激等を与え続けることであり、そのために効果的な方法の一つとして、昭和大学においては、PBLテュートリアルを1年次より取り入れているとのことである。PBLテュートリアルをカリキュラムに取り入れている目的とその実施に伴う問題点、各年次におけるPBLの段階的なレベルアップとフィードバック、評価について説明があった。また、医系総合大学の特徴を活かして4学部横断PBLテュートリアルも行うことにより、各自が自分の役割について自覚的になり、相互理解に基づいたチーム医療が実践できる医療人の養成をしているとのことであった。当日は90名近い参加者が集まり、質疑応答も活発に行われ大変有意義なセミナーとなった。



説明される片岡准教授：平成20年11月12日（水）、千葉校舎第1教室

### ■第283回大学院セミナー開催

平成20年11月13日（木）午後6時より千葉校舎第2教室において、第283回大学院セミナーが開催された。今回は日本大学松戸歯学部歯科生体材料学講座の西山典宏教授を講師にお迎えして「接着研究の最前線－核磁気共鳴法によるレジ系材料の研究－」と題し、セルフエッチングプライマーの歯質脱灰の効果、接着強さ、保管安定

性についてNMRを用いた研究成果をお話し頂いた。セルフエッチングプライマーは歯質接着性を有する酸性モノマー（MDP, 4-AET, 4-METAなど）、HEMAおよび水などから構成される溶液であるが、リン酸基を有するモノマーの方がカルボキシル基を有するモノマーよりも歯質を脱灰する能力は高いこと、メタクリレートエステル基の加水分解に伴うセルフエッチングプライマーの変質速度は保管温度に依存するので冷蔵庫保管が肝要であること、容易に加水分解しないアミドモノマーを開発したことなど、日常臨床に有益であると共に、研究手法を学ぶ上でも大変有意義なセミナーであった。



講演される西山教授：平成20年11月13日（木）、千葉校舎第2教室

### ■平成20年度修学指導関係者・父兄個別面談会開催

平成20年度修学指導関係者・父兄個別面談会が、平成20年11月22日（土）に第1学年～第5学年生が、12月6日（土）に第6学年生が、千葉校舎において開催された。第1学年から第5学年の修学指導を必要とする学生、及び第6学年の希望者を対象とし、保護者、及び学生と学年主任（クラス主任）・副主任による三者面談方式で行われた。

### ■第284回大学院セミナー開催

平成20年11月25日（火）午後6時より千葉校舎第2教室において、第284回大学院セミナーが開催された。今回は日本大学松戸歯学部歯周治療講座の小方頼昌教授を講師にお迎えして「歯周病と再生医療に関わる骨代謝」と題する講演を伺った。骨シアロタンパク質（Bone Sialoprotein; BSP）は、リン酸化および硫酸化を受けた糖タンパク質で、石灰化結合組織特異的に発現し、RGD細

胞接着配列およびカルシウム結合配列を有する。さらに、アパタイト結晶形成能を有することから、初期の石灰化部位における石灰化調節タンパク質であると考えられている。講演では歯周組織再生を制御する転写因子とBSPの発現調節機構との関係について示された。特に、アメロジェニンを主成分とするエナメルマトリックスタンパク質(エムドゲイン; EMD)のBSPの転写に対する影響について、BSP遺伝子発現量およびBSPプロモーター活性の変化を詳細に解析し、EMDがBSPの転写を促進させることで歯周組織再生を誘導するであろうと述べられた。セミナー会場では基礎系、臨床系の教員、学生が聴講し、講演後には活発な質疑応答がなされ、多くの示唆を含む非常に有意義なセミナーであった。



講演される小方教授：平成20年11月25日(火)、千葉校舎第2教室

### ■平成20年度医学教育等関係業務功労者表彰(文部科学省)を受ける

市川総合病院 看護師 根岸恵美子 氏

市川総合病院 准看護師 齊藤 孝子 氏

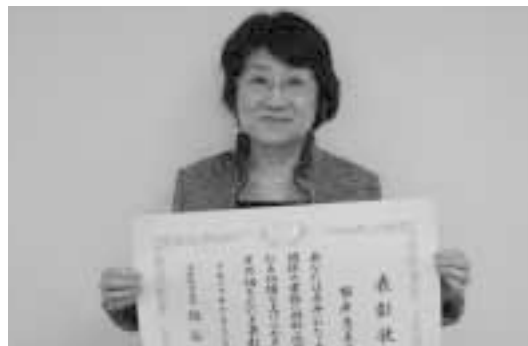
歯学部・医学部及び附属病院等において、教育・研究・患者診療等に長期間従事し、顕著な功労があった者に授与される当該表彰において、本学から推薦された市川総合病院の根岸恵美子看護師並びに齊藤孝子准看護師が、全国の大学より推薦された候補者の中から、今年度の受賞者として選ばれた。

根岸氏は看護師として、26年間にわたり看護業務に従事し、明朗、活発、誠実で積極性に富み、他の職員や患者からの信頼は厚く、特に若手の看護師から慕われ悩みの相談に乗るなど、人望を集めている。

齊藤氏は准看護師として、23年間にわたり看護

業務に携わり、真面目な態度は同僚や後輩により刺激となり、業務の工夫と改善を具体的に実施してきた。患者への誠実な対応やテキパキとした行動力で外来看護師として能力を発揮している。

それぞれの立場において、他の職員の模範となり、病院の発展に貢献してきたことが高く評価され、今回の表彰となったものである。



表彰を受けた根岸看護師：平成20年11月28日(金)



表彰を受けた齊藤准看護師：平成20年11月28日(金)

### ■大学院入学試験(Ⅰ期)

平成20年11月29日(土)午前9時30分から千葉校舎において、平成21年度大学院入学試験(Ⅰ期)が実施され、外国語(英語)試験および志望講座における主科目試験・面接が行われた。また同日、社会人特別選抜及び平成20年度より新設された口腔がん専門医養成コースも実施され、外国語(英語)試験および口頭試問(面接)、志望講座における主科目試験・面接が行われた。本年度は志願者34名(一般32名(口腔がん専門医養成コース3名含む)、社会人2名)が受験し、12月5日(金)正午に合格者の発表が行われた。なお、Ⅱ期は平成21年2月21日(土)に実施される予定である。



## ■教職員への移転関係報告

教職員 各位

理事長 熱田 俊之助  
学 長 金子 讓

大学の水道橋移転計画については、本年3月に開催された第648回理事会、第217回評議員会にて実施決定がなされ、その内容を5月20日の学長講演、6月30日発行の大学広報第230号掲載記事『大学の水道橋移転について』などでご案内をしてきました。

以来、各方面から準備を進めて参りましたが、今般新たに決定したことについて、教職員各位へお知らせいたします。

### 1. 水道橋校地候補の取得について

現在の千葉校舎を水道橋へ移転するにあたり、大学機能を必要十分に維持できるだけの校地候補を検討しておりました。その中で、第653回理事会（平成20年12月3日開催）の承認を受け、神田駿河台二丁目の土地約150坪を取得いたしました。

### 2. 学校法人昭和一高学園との校舎共同開発事業解消について

本来の基本構想においては、学校法人昭和一高学園と共同で校舎を建設することとしており、実際の交渉権は得ておりましたが、同校の諸事情によって計画保留となってから約1年経過しており、本学の将来構想を策定する上で不確定要素が多く存在することから、前項の土地購入に伴い共同開発事業を解消することが同理事会において承認されました。

以上により、今後はTDCビル敷地、リパーク駐車場跡地、及び神田駿河台土地の3箇所を水道橋校地（予定）として検討を進めて参ります。

今後もお知らせについてはポータルサイト及び本広報誌を通じて随時行いたいと考えております。教職員各位におかれましては、本計画へのご理解・ご協力をお願いいたします。

## 海外交流

### ■モスクワ国立医科歯科大学総長等来校

本学の姉妹校（平成19年6月5日～）であるロシアのモスクワ国立医科歯科大学からProf. Oleg Yanushevich（総長）、Prof. Igor Maev（主任副総長）、Prof. Ernest Bazikyan（教学担当副総長）、Ms. Anna Kuznetsova（国際渉外部員、通訳）の4名が、平成20年10月21日（火）に本学（千葉校舎、市川総合病院）に来校された。

今回の来校は、本学の教育体制、教育施設、研究施設、臨床現場である附属病院の見学、平成21年に開催予定のユーロ・アジアデンタルサミット事前打合せを目的としたものであった。4名の訪問日程は、以下のとおりである。

午前10時30分に千葉校舎に来校され、特別会議室において、金子 讓学長、薬師寺 仁副学長、井出吉信副学長、石井拓男千葉病院長、柳澤孝彰大学院研究科長、井上 孝国際渉外部長、佐野 司

教授、Jeremy Williams准教授、永井隆夫事務局長の出席のもと、先ず、金子学長から歓迎の挨拶があり、Yanushevich総長から挨拶が述べられた。次に両大学の出席者の紹介があり、記念撮影後、来年4月にモスクワで開催されるユーロ・アジアデンタルサミットに関する打合せが行われた。



金子学長とYanushevich総長を囲んで記念撮影：平成20年10月21日（火）、千葉校舎特別会議室

昼食後、1時間30分にわたり千葉校舎の基礎棟、実習講義棟、図書館大学史料室、千葉病院の外來等を熱心に見学された。

その後、一行は市川総合病院を見学し、夕刻には都内において、金子学長主催の懇親会が催され、来校者を囲み本学から金子学長、薬師寺副学長、井上国際渉外部長、佐野教授、岡部陽子国際渉外部運営委員が出席し、両校の懇親が図られた。

一行は、本学への訪問の他に、昭和大学(10月20日)、日本歯科大学(10月22日)、早稲田大学(10月22日)にも訪問し、各大学の教育施設・設備を見学され、特にユーロ・アジアデンタルサミットのトピックの一つであるロボットの歯科への応用についての視察を重点的にを行い、10月26日(日)に帰国された。

なお、各大学への訪問・見学等に当たっては、本学国際渉外部員が同行し、通訳や懇親会の手配など全面的に本学が協力し、姉妹校としての役割を無事に果たした。



見学をする来校者4名:平成20年10月21日(火)、臨床基礎実習室

### ■延世大学校歯科大学病院職員来校

本学の姉妹校である延世大学校歯科大学の病院職員が、平成20年11月5日(水)、6日(木)の2日間の日程で来校された。

来校者は、教授1名、事務職員2名、診療放射線技師1名、歯科技工士1名、歯科衛生士2名、看護師4名の計11名で、千葉病院、市川総合病院、水道橋病院の施設見学並びに病院の運営システム等の視察を目的としたものであった。

11月5日(水)午前10時から千葉校舎第1会議室において、歓迎式が開催された。まず、石井拓男千葉病院長による歓迎の挨拶の後、延世大学病院を代表して、チェ・ソンフォ教授(歯周病学)

から挨拶が述べられた。引き続き両校職員の紹介、記念品交換、記念撮影を行い歓迎式が終了した。

午前10時30分から千葉校舎の見学が行われた。その後、事務系、看護師、歯科衛生士等の職種別に分かれ千葉病院の業務見学を行った後、質疑応答を交えたディスカッションを行い両病院の業務内容や歯科医療について相互理解を深めることができた。

午後5時30分からJR千葉駅前のセンシティブー22階の東天紅(日本料理「海燕亭」)において懇談会が開催され、本学からは、吉峯規雄千葉病院事務部長、大塚茂千葉病院庶務課長、菅裕治診療放射線技師長、許斐玲子総看護師長、麻賀明雄主任歯科技工士、長澤恵子主任歯科衛生士、事務系関係者が出席し両校の大学病院職員として友好を深めるうえで大変有意義な懇談会となった。なお、当日は、韓国からの留学生である崔允榮臨床専門専修科生(歯科矯正学講座)が通訳を務め両校の親善に尽力された。

翌日の11月6日(木)は午前9時40分より水道橋校舎の見学が行われた。水道橋校舎特別会議室にお迎えし、柿澤卓水道橋病院長による歓迎の挨拶の後、延世大学病院を代表して、チェ教授より挨拶をいただいた。引き続き両校職員の紹介を行った後、各診療室等の施設を見学した。見学後、全員で記念撮影をし、伊藤菜奈子歯科衛生士、新井真弓看護師から水道橋病院看護部並びに歯科衛生士部の勤務内容に関するプレゼンテーションが韓国語で行われた。ディスカッションでは延世大学病院職員から多岐に渡って質問があり、大変有意義であった。引き続き水道橋駅近くの「菩提樹」に場所を移して昼食会が行われた。柿澤病院長も出席し両病院の職員は料理に舌鼓を打ちながら活発に意見交換を行い、両校の友好と相互理解をより一層深めることができた。

昼食後、一行は市川総合病院へバスにて移動し、午後2時より市川総合病院の見学が行われた。市川総合病院角膜センター第1会議室において、外木守雄准教授(オーラルメディスン・口腔外科学講座)による歓迎の挨拶と病院概要説明の後、延世大学病院を代表して、チェ教授より挨拶をいただいた。引き続き両校職員の紹介を行った後、

口腔がんセンターをはじめ各診療科等の施設を見学・記念撮影を行なった。見学後、意見交換が行われ水道橋病院訪問と同様にチェ教授からは有意義であった旨の御礼の言葉をいただいた。

延世大学病院職員は、2日間にわたるスケジュールで千葉病院、市川総合病院、水道橋病院を訪問して本学附属病院の知識、理解を深めたが、対応した本学病院職員にとっても大変有意義な来校であった。

その後、一行は都内見学を行った後、11月8日(土)に無事帰国した。



延世大学校歯科大学病院職員来校歓迎式：平成20年11月5日(水)、千葉校舎第1会議室

## 学生会ニュース

### ■第6学年樋口はる香さんHatton Travel Awardを受賞

樋口はる香さん(第6学年)は、平成20年7月1日から5日までカナダ・トロントにて開催された第86回IADR(International Association for Dental Research)においてHatton Award Competitionに参加した。Hatton Award Competitionは7月1日に行われ、樋口さんはJunior部門の日本代表として生化学講座で行っている卒業研究で最終選考に臨み、Hatton Travel Awardを受賞した。

タイトルは「Stress-adaptive enzyme and ion channels in xerostomia model mouse」で唾液腺に発現するストレス応答酵素とイオンチャネルの発現を口腔乾燥症モデルマウスにおいて検討したものである。

樋口はる香さん

コンペティションは緊張しましたが、審査員の先生方から意見や励ましを頂いたり、各国代

表の優秀な学生と研究について議論する機会が持て、本当に良い経験になりました。御指導下さった生化学講座をはじめとして各講座の先生方、ご支援頂いた国際渉外部、教務部の皆様に感謝致します。この経験を今後も活かしていきたいと思っています。



“発表を終えて、ホッと一息。”生化学講座の佐藤 裕准教授と記念撮影する樋口さん(右):平成20年7月3日(木)、The Fairmount Royal York Hotel

## 図書館から

### ■本学教員著書リスト

(本学の教員名が標題紙に記載されているものに限定)

平井義人 ほか編著「症例でみる歯科用レーザーの有効活用」ヒョーロン、2008(日本歯科評論増刊)

○本学教員の著書については、特に収集に努めております。著書発刊のときには、できましたらご寄贈のほどよろしくお願いたします。

## ■「Books Pick Up」

11月18日(火)より、図書館2階閲覧室において「ノーベル賞に関する本あれこれ」をテーマとして、当館で所蔵している国内外のノーベル賞受賞者著書、および関連図書を展示している。本年受賞の南部陽一郎、小林 誠、益川敏英の3氏の著書に加え、自然科学系、医学・生理学に限らず、川端康成、大江健三郎といった日本人ノーベル文学賞受賞者の著作全集や海外のノーベル賞文学全集などもPick Upしている。興味深いテーマとなっているので是非、ご覧いただきたい。

この展示図書のリストは図書館カウンターで配布中の小冊子「ノーベル賞に関する本あれこれ」および図書館ホームページ上(「テーマ別図書リスト」)でも見ることができる。

<http://info.tdc.ac.jp/lib/2008/11/bo oks-pick-up-d.html>

## ■2009年学術雑誌契約更新について

2009年の和・洋雑誌は、現行タイトルを継続して更新した。変更点は次の通りである。

1. 電子ジャーナルのみ購入に変更(冊子体購読中止)5誌

- 1) Analytical Biochemistry
- 2) Biochimica et Biophysica Acta
- 3) Food & Chemical Toxicology
- 4) Journal of Fluorine Chemistry
- 5) Trends in Immunology

2. 新規購読 2誌

- 1) Endodontic Topics (Wiley-Blackwell) 冊子&電子ジャーナル
- 2) Entoni (全日本病院出版会) 冊子購読

## ■機関リポジトリ関連情報

リポジトリ利用状況を利用統計ページ

(<http://ir.tdc.ac.jp/irucaa/es>) で公開している。登録数の増加に伴い、利用も順調に増加しており、今後ともご協力をお願いしたい。

リポジトリ関連データベース

CiNii (<http://ci.nii.ac.jp/>)

論文が本学リポジトリ登録コンテンツにある場合、リンクにより本文の利用が可能。

JAIRO (<http://jairo.nii.ac.jp/>)

本学リポジトリを含む日本の学術機関リポジ

トリ84機関、54万件のデータを横断的に検索することができる。

## ■東歯祭で、大学史料室を一般公開

東歯祭が行われた11月1日(土)・2日(日)の2日間、例年どおり図書館1階にある大学史料室を一般公開した。史料室では現在倉庫内の高山・血脇・奥村・野口4先生の資料の整理を進めており、今回はその中からこれまであまり展示されなかった奥村先生に関する資料20数点を追加展示した。加えて図書館ロビーには、「高山歯科医学院」「東京歯科医学専門学校」「旧水道橋校舎」の模型を並べ、各校舎に関して説明したポスターを掲示した。さらに、図書館正面入口には、戦前戦後のムシ歯予防に関するポスターを展示し、来場者の興味を惹いた。期間中、来場者数は昨年を上まわり約300名で、特に一般の方の来場が増え、盛況であった。



三校舎の模型を展示：平成20年11月1日(土)、千葉校舎図書館ロビー

## ■大学史料室から<史料室収蔵品紹介：写真>



奥村先生がご家族と一緒にの写真：大正13年3月の卒業アルバムより

## 歯科衛生士専門学校ニュース

### ■歯科衛生士専門学校登院式挙行

東京歯科大学歯科衛生士専門学校第59期生の登院式が、平成20年10月1日(水)午前11時から千葉校舎第2教室において、石井拓男千葉病院長、高野伸夫歯科衛生士部長、尾谷始子歯科衛生士長の臨席のもと、第1学年と第3学年の学生全員が列席する中で挙行された。

橋本貞充学生部長の司会のもと、真木吉信副校長の呼名により、登院生一人ひとりが紹介された。はじめに下野正基校長より臨床実習に臨む心構えについて訓辞を受けた後、来賓として臨席された石井千葉病院長からの訓辞があった。その後、登院生45名を代表して木村絵里奈さんが誓詞を述べ、登院生全員がこれに唱和して式を終了した。



誓詞を述べる登院生：平成20年10月1日(水)、千葉校舎第2教室



登院生揃っての記念撮影：平成20年10月1日(水)、千葉校舎第2教室

### ■平成21年度推薦入学選考

歯科衛生士専門学校の平成21年度推薦入学選考が、平成20年10月30日(木)に千葉校舎におい

て実施された。募集人員40名のおよそ半数を推薦入学により入学させるものであり、本年は県内から37名、他県から4名の41名が高等学校長の推薦により、また、20年度から始まった社会人特別選抜には、県内から3名、他県から1名、の合計45名が受験した。選考内容は、高等学校長推薦は書類審査と基礎学力検査、および面接であり、社会人特別選抜は、自己推薦書と書類による審査と、小論文および面接であった。入学選考は、午前9時30分から始まり、午後3時にはすべてが終了した。

合格の発表については、10月31日(金)に開かれた選考委員会で決定され、同日付けで出身高等学校長および受験生本人に通知された。

### ■歯科衛生士専門学校第3学年修学旅行

歯科衛生士専門学校第3学年第58期生は、11月16日(日)、17日(月)の1泊2日の日程で、修学旅行へと出掛けた。

土砂降りの雨の中、バスは千葉校舎から甲府へ向かって出発した。途中、高速道路に乗る頃には小雨となり、予定より早く到着したため、小さいけれど洒落たロリアンワインのワイナリーを訪れて工場を見学し、昼食前の食前酒ともなる試飲を楽しんだ。昼食は、葡萄棚の下でパーベキュー。食後には葡萄を食べ放題で堪能した。そして、修学旅行の一番の目的でもある合格祈願。昨年、57期生の先輩が歯科衛生士試験全員合格の祈願に訪れた同じ地である武田神社へと向かった。この頃には雨もすっかりやみ、雨露に濡れた色鮮やかな紅葉で彩られた、武田信玄にゆかりの深い武田神社に参詣し、厳粛な雰囲気の中、お祓いを受け、全員での合格を誓い合った。夕暮れには河口湖畔に建つ富士ビューホテルに到着し、卒業論文提出までの疲れた身体を、温泉で十分に癒した。体力が回復したあとの夕食は、旅行委員たちの演出のもと、歌と会話で盛り上がり、思い出深い夜を過ごした。それぞれの部屋に戻ったあとも、夜遅くまで明かりが消えることはなく、語り明かしたのだった。

翌朝、眠い目をこすりながらの窓を開けてびっ

くり。昨日とは打って変わった晴天の中に、雄大な富士山が姿を現し、艶やかな紅葉が朝陽に輝いていた。その景色を、ホテルの最上階から展望し、刻一刻と変わりゆく様子に見入った。心も体もリフレッシュし、河口湖近くにあるクラフトパークで、ガラス細工にチャレンジ。ガラスのコップにサンドブラストを施す者、ガラスのトンボ玉を作成する者…。集中して各々の作品製作に没頭し、およそ2時間の時間があっという間に過ぎていった。その後、車中の時間を過ごして、富士サファリパークへと向かい、様々な動物が近寄ってくるのに車中で大騒ぎをしたり、かわいらしい動物に心やすらぎながら、十二分に楽しんだ。

3年間で最後の学年全員での修学旅行に思いをよせ、たくさんの思い出を胸一杯に詰め込み、千葉へと向うバスに乗り込んだ。



笑顔での記念撮影：平成20年11月17日（月）、河口湖クラフトパーク



夕食風景：平成20年11月16日（日）、富士ビューホテル

## 人物往来

### ■国内見学者来校

#### 千葉校舎・千葉病院

- 自衛隊中央病院高等看護学院（学生91名、教員3名）  
平成20年10月7日（火）解剖学講義、解剖標本室見学
- さいたま赤十字看護専門学校（学生34名、教員2名）  
平成20年10月15日（水）解剖標本室、病院見学
- 大宮歯科衛生士専門学校（学生38名、教員3名）  
平成20年10月16日（木）解剖学教室、病院見学
- 三河歯科衛生専門学校（学生45名、教員3名）  
平成20年10月24日（金）解剖標本室見学
- 関東鍼灸専門学校（学生47名、教員3名）  
平成20年11月6日（木）解剖学教室見学
- 横浜市立盲特別支援学校（学生18名、職員11名）  
平成20年11月27日（木）解剖実習指導、解剖標本室見学

### 市川総合病院

- 東京都立豊島病院（研修生4名）  
平成20年10月24日（金）病院見学

### ■海外出張

- 篠崎尚史センター長（角膜センター）  
European Transplant Coordinators Organizationに参加のため、平成20年10月1日（水）から7日（火）まで、ラトビア・リガへ出張。
- 島崎潤教授（市病・眼科）  
第2回日韓ジョイント角膜ミーティングに出席のため、平成20年10月2日（木）から4日（土）まで、韓国・ソウルへ出張。
- 石上恵一教授（スポーツ歯科）  
慶熙大学校歯科大学の客員教授として臨床講義のため、及び大韓スポーツ歯科学会役員との学術情報交換のため、平成20年10月12日（日）から15日（水）まで、韓国・ソウルへ出張。
- 関口 浩准教授、原 麻子講師、山下治人大学院

生、米倉智子大学院生(小児歯科)

インドネシア・バリ島における小児歯科の講演及び実習の講師として、平成20年10月16日(木)から、関口准教授、原講師、山下大学院生は21日(火)まで、米倉大学院生は20日(月)まで、インドネシア・バリ島へ出張。

- 小坂橋俊哉教授、大内貴志講師、高野慧玲臨床専修医、小椋津智子臨床専修医(市病・麻酔科)

The 2008 Annual Meeting of the American Society of Anesthesiologistsに参加及び発表のため、小坂橋教授、高野臨床専修医、小椋津臨床専修医は平成20年10月18日(土)から24日(金)まで、大内講師は平成20年10月19日(日)から23日(木)まで、アメリカ・オーランドへ出張。

- 櫻井学講師(歯科麻酔科)

The 2008 Annual Meeting of the American Society of Anesthesiologistsに参加及び発表のため、平成20年10月19日(日)から24日(金)まで、アメリカ・オーランドへ出張。

- 武本真治講師(歯科理工)

21st International Symposium of Ceramics in Medicine (Bioceramics21)で発表のため、及びSao Paulo Universityで研究打合せのため、平成20年10月20日(月)から29日(水)まで、ブラジル・リオデジャネイロ及びサンパウロへ出張。

- 柴原孝彦教授、石井啓裕大学院生(口腔外科)

The 47th Congress of Korea Association of Maxillofacial Plastic and Reconstructive Surgeonsに参加及び発表のため、平成20年10月23日(木)から25日(土)まで、韓国・釜山へ出張。

- 大久保真衣助教(摂食・嚥下リハビリテーション、地域歯科診療支援科)

19th International Congress of the International Association for Disability and Oral Healthに参加及び発表のため、平成20年10月26日(日)から11月3日(月)まで、ブラジル・サントスへ出張。

- 平井義人教授、春山亜貴子大学院生(保存修復)

International Academy Laser Medicine and Surgery Laser Florence 2008で発表のため、平井教授は平成20年10月28日(火)から、春山大学院生は平成20年10月29日(水)から、それぞれ11月3日(月)まで、イタリア・フィレンツェへ出張。

- 松久保隆教授、杉原直樹講師、大澤博哉大学院生(衛生)

2008年大韓口腔衛生学会で発表のため、及び延世大学校歯科大学予防歯科学講座との研究打合せのため、平成20年10月31日(金)から、松久保教授、大澤大学院生は11月3日(月)まで、杉原講師は11月2日(日)まで、韓国・ソウル及び慶州へ出張。

- 笠原正貴講師(歯科麻酔)

第2回アジア歯科麻酔学会学術大会で発表のため、平成20年10月31日(金)から11月3日(月)まで、中国・上海へ出張。

- 監物真大学院生(臨床検査)

International Conference on Frontiers of Dental and Craniofacial Research 2008に参加及び発表のため平成20年10月31日(金)から11月5日(水)まで、中国・北京へ出張。

- 伊藤祥雄助教(市病・皮膚科)

第10回日本-中国合同皮膚科学術会議で発表のため、平成20年10月31日(金)から11月3日(月)まで、中国・杭州へ出張。

- 金子讓学長、一戸達也教授(歯科麻酔)

金子学長はアジア歯科麻酔学会理事会出席及び第2回アジア歯科麻酔学会学術大会で招待講演のため、一戸教授は学長随員として、平成20年11月1日(土)から4日(火)まで、中国・上海へ出張。

- 恩田健志レジデント、黒岩司大学院生(口腔外科)

第8回アジア顎顔面口腔外科学会に参加及び発表のため、平成20年11月2日(日)から9日(日)まで、タイ・バンコクへ出張。

- 高野正行准教授、高崎義人講師(水病・口腔外科)

第8回アジア顎顔面口腔外科学会に参加及び発表のため、平成20年11月3日(月)から8日(土)まで、タイ・バンコクへ出張。

- 篠崎尚史センター長(角膜センター)

Eye Bank Association of America定例会議に出席のため、及びアメリカアイバンク協会トレーニングに出席のため、平成20年11月4日(火)から11日(火)まで、アメリカ・アトランタ及びニューヨークへ出張。

- 眞木吉信教授(衛生)

The 8th International Conference of Asian Academy of Preventive Dentistryに参加のため、平成20

年11月5日(水)から9日(日)まで、韓国・済州島へ出張。

○鳥崎 潤教授(市病・眼科)

American Academy of Ophthalmology及びCornea Societyに参加及び発表のため、平成20年11月6日(木)から12日(水)まで、アメリカ・アトランタへ出張。

○阿部伸一准教授(解剖)

Qingdao University School of Stomatologyにおいて、安全にインプラント治療を行うための解剖学的知識に関する講演と「Hands on Anatomy for Implant」と題した解剖実習を行うため、平成20年11月7日(金)から10日(月)まで、中国・青島へ出張。

○今井裕樹講師、山下治人大学院生(小児歯科)

同済大学児童口腔医学研究所との共同研究実施のため、平成20年11月17日(月)から22日(土)まで、中国・上海へ出張。

○川口裕之講師(市病・小児科)

2008 International Symposium on Development and Diseaseへ参加のため、及び四川大学華西第二病院の視察、研究打合せのため、平成20年11月20日(木)から23日(日)まで、中国・成都へ出張。

○山田 了教授、太田幹夫講師(歯周病)

第48回韓国歯周病学会に参加及び山田教授は

招待講演のため、平成20年11月21日(金)から24日(月)まで、韓国・ソウルへ出張。

○内山健志教授、須賀賢一郎講師、澁井武夫助教(口腔外科)

口唇口蓋裂児への医療援助、技術指導及び学術調査のため、内山教授は平成20年11月22日(土)から12月6日(土)まで、須賀講師、澁井助教は平成20年11月24日(月)から12月6日(土)まで、ベトナム・ホーチミン市及びヴィンロン省へ出張

○安藤暢敏教授(市病・外科)

Asia-Pacific Gastroesophageal Cancer Congressで講演のため、平成20年11月24日(月)から27日(木)まで、中国・香港へ出張。

○松久保 隆教授(衛生)

第311回中華牙医学会総会に出席及び招待講演のため、平成20年11月27日(木)から12月1日(月)まで、台湾・台北へ出張。

○外木守雄准教授(市病・オーラルメディシン)

Paracelsus Medical Universityで講義のため、平成20年11月27日(木)から12月3日(水)まで、ドイツ・ザルツブルグへ出張。

○丸茂 健教授(市病・泌尿器科)

第3回日本-ASEANメンズヘルス・加齢学会に参加及び発表のため、平成20年11月30日(日)から12月4日(木)まで、シンガポールへ出張。

## 大学日誌

### 平成20年10月

1 (水) 1・2・3・4年生後期授業開始

大学院入学試験(Ⅰ期)願書受付開始  
(~11/21)

リスクマネージメント部会

ICT会議

第277回大学院セミナー

歯科衛生士専門学校登院式

省エネルギーの日・防災安全自主点検日  
教職員研修会(水病)

口腔健康臨床科学講座会(水病)

2 (木) 大学院説明会

歯科衛生士専門学校2年生臨床実習開始

歯科衛生士専門学校1年生後期授業開始

2 (木) 緩和講演会(市病)

3 (金) 大学院事務連絡会  
第278回大学院セミナー  
ICT委員会(市病)

4 (土) 第6回試験問題作成に関するワークショップ  
(~5日)

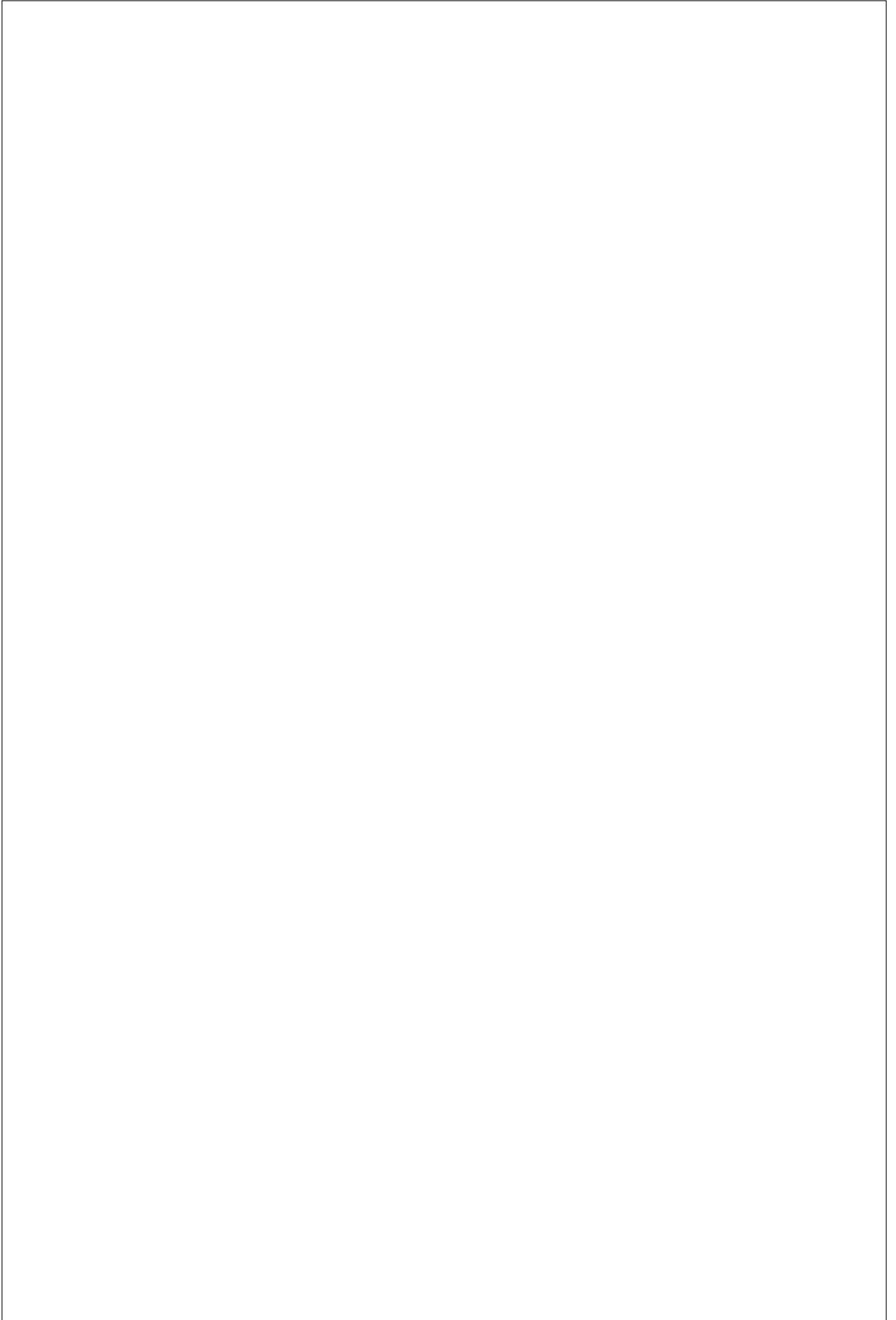
7 (火) 教務部(課)事務連絡会  
臨床教育委員会  
第279回大学院セミナー  
看護部運営会議(市病)

8 (水) 第77回歯科医学教育セミナー  
歯科衛生士専門学校職員会  
救急委員会(市病)  
リスクマネージメント部会(水病)



- |   |   |
|---|---|
| 8 (水) 薬事委員会 (水病)  | 23 (木) 業務連絡会  |
| 9 (木) 学年主任・クラス主任会<br>手術室運営委員会 (市病)  | 院内感染症予防対策委員会 (市病)   |
| 10 (金) 学生部 (課) 事務連絡会<br>CPR+AED講習会 (市病)<br>感染予防指導チーム委員会 (水病)  | 24 (金) 社保委員会 (水病)   |
| 13 (月) TDCビル受変電室法定点検 (水病)   | 25 (土) 平成21年度第4回看護師採用選考試験<br>(市病)<br>千葉県北西部病理細胞診研究会総会 (市<br>病)                        |
| 14 (火) 臨床教授連絡会<br>講座主任教授会<br>人事委員会<br>第280回大学院セミナー<br>給食委員会 (水病)  | 27 (月) 医療連携委員会<br>第281回大学院セミナー<br>電子カルテシステム運用管理委員会 (診<br>療録管理委員会) (市病)<br>教職員研修会 (水病) |
| 15 (水) 基礎教授連絡会<br>大学院運営委員会<br>大学院研究科委員会<br>環境清掃日<br>危険物・危険薬品廃棄処理日<br>CPC (市病)   | 28 (火) データ管理者会議<br>カルテ整備委員会<br>診療記録管理委員会  |
| 16 (木) 高度・先進医療委員会<br>大学院説明会<br>医療ガス安全管理委員会 (市病)<br>部長会 (市病)<br>管理診療委員会 (市病)<br>医療安全管理委員会 (水病)<br>感染予防対策委員会 (水病)<br>個人情報保護委員会 (水病)<br>科長会 (水病) | 30 (木) 歯科衛生士専門学校推薦入学選考  |
| 18 (土) 第286回東歯学会 (総会) (~19日)<br>市病フォーラム (市病)<br>午後のリサイタル (市病)   | 31 (金) 大学院事務連絡会<br>歯科衛生士専門学校推薦入学選考委員会   |
| 20 (月) 病院運営会議<br>個人情報保護委員会<br>医療安全管理委員会<br>感染予防対策委員会 (ICC)<br>医局長会<br>医療安全研修会<br>機器等安全自主点検日   |   |
| 21 (火) 教養科目協議会<br>院内褥瘡対策委員会 (市病)  |   |
| 22 (水) 情報システム管理委員会<br>看護部運営会議 (市病)<br>病院連絡協議会 (水病)<br>診療録管理委員会 (水病)<br>サービス向上委員会 (水病)   |   |
- 平成20年11月**
- |  |
|--|
| 1 (土) 推薦入学選考・帰国子女・留学生特別<br>選抜・学士編入学試験願書受付開始<br>第40回東歯祭 (~2日)   |
| 2 (日) 入試ガイダンス (於：千葉校舎)   |
| 4 (火) 振替授業 (月曜日分)<br>教務部 (課) 事務連絡会<br>省エネルギーの日・防災安全自主点検日<br>看護部運営会議 (市病)   |
| 5 (水) 推薦入学選考・帰国子女・留学生特別<br>選抜・学士編入学試験願書受付締切<br>リスクマネージメント部会<br>ICT会議<br>基礎教授連絡会<br>大学院運営委員会<br>大学院研究科委員会<br>東京都エイズ診療従事者臨床研修 (~6<br>日) (水病)<br>口腔健康臨床科学講座会 (水病) |
| 6 (木) 学生インフルエンザ予防接種 (1~6年生)<br>治験審査・倫理委員会 (市病)   |
| 7 (金) ICT委員会 (市病)  |
| 8 (土) 推薦入学選考・帰国子女・留学生特別<br>選抜・学士編入学試験 (於：千葉校舎)   |
| 10 (月) 公認会計士監査 (~14日)  |

- |   |  |
|---|--|
| <p>10 (月) 病院運営会議<br/>個人情報保護委員会<br/>医療安全管理委員会<br/>感染予防対策委員会 (ICC)<br/>臨床教育委員会<br/>医局長会<br/>医療安全研修会<br/>インフルエンザワクチン予防接種 (～14日) (水病)</p> <p>11 (火) 講座主任教授会 (推薦入学・帰国子女・留学生特別選抜・学士編入学判定を含む) 学生インフルエンザ予防接種 (1～6年生) 臨床教授連絡会<br/>人事委員会<br/>学生部 (課) 事務連絡会<br/>第282回大学院セミナー<br/>歯科衛生士専門学校臨床実習委員会<br/>院内褥瘡対策委員会 (市病)</p> <p>12 (水) 第78回歯科医学教育セミナー<br/>救急委員会 (市病)<br/>ICU運営委員会 (市病)<br/>リスクマネージメント部会 (水病)<br/>医療機器安全管理委員会 (水病)<br/>薬事委員会 (水病)</p> <p>13 (木) 業務連絡会<br/>第283回大学院セミナー</p> <p>14 (金) CPR+AED講習会 (市病)<br/>感染予防指導チーム委員会 (水病)</p> <p>16 (日) 歯科衛生士専門学校3年生修学旅行 (～17日)</p> <p>17 (月) 環境清掃日<br/>危険物・危険薬品廃棄処理日<br/>会計監査 (17日～21日) (市病)<br/>薬事委員会 (市病)</p> | <p>17 (月) 電子カルテシステム運用管理委員会 (市病)</p> <p>18 (火) 看護部運営会議 (市病)</p> <p>19 (水) 会計検査院実地検査 (～21日)<br/>臨床研修作業部会 (水病)</p> <p>20 (木) 高度・先進医療委員会<br/>機器等安全自主点検日<br/>部長会 (市病)<br/>管理診療委員会 (市病)<br/>理事会 (法人)<br/>医療安全管理委員会 (水病)<br/>感染予防対策委員会 (水病)<br/>個人情報保護委員会 (水病)<br/>科長会 (水病)</p> <p>21 (金) 大学院入学試験 (I期) 願書受付締切</p> <p>22 (土) 修学指導関係者・父兄個別面談会 (1～5年生)</p> <p>25 (火) 6年生第3回総合学力試験 (～26日)<br/>薬事委員会<br/>データ管理者会議<br/>カルテ整備委員会<br/>診療記録管理委員会<br/>教養科目協議会<br/>第284回大学院セミナー<br/>公認会計士監査 (～27日) (水病)</p> <p>26 (水) 振替授業 (月曜日分)<br/>教職員インフルエンザ予防接種 (11/26.28.12/1.2.5)<br/>病院連絡協議会 (水病)<br/>診療録管理委員会 (水病)<br/>サービス向上委員会 (水病)</p> <p>27 (木) 院内感染症予防対策委員会 (市病)</p> <p>28 (金) 千葉病院医療連携協議会<br/>社保委員会 (水病)</p> <p>29 (土) 大学院入学試験 (I期)</p> |
|---|--|



## 東京歯科大学広報 編集委員

内山健志（委員長）

浦田知明 江波戸達也 王子田 啓 金安純一 河田英司 坂本智子 椎名 裕 柴家嘉明 新谷益朗  
高木直人 田口達夫 野島靖彦 伴 英一郎 橋本貞充 三木敦史 米津博文（平成20年11月現在）

### 編集後記

日本に最初の営業用鉄道が開業されたのは、明治5年のことです。わずか新橋と横浜の間といっても、江戸城が明け渡しされ、丁髷を結っていた武士の江戸時代が終わってから、わずか5年しかたっておりません。少し前の陸の搬送が、飛脚や早馬、さらに牛による荷車であったことを想えば、すごい変化です。この変化を担った明治新政府の人々は、おもに30代から40代はじめの人たちです。

さて東京の玄関である東京駅は、明治の建築王と呼ばれた辰野金吾によって設計され、大正3年、東海道本線起点の新橋駅と東北本線起点の上野駅を連絡するために、皇居側に建設されました。しかし、昭和20年の戦時下、B29爆撃機による焼夷弾を受け、3階建ての丸の内駅舎が大火災となり、ドーム状の屋根が消失しました。戦後の昭和22年、写真にある角屋根、2階建ての駅舎として再建され、国の重要文化財になっております。現在、赤レンガの外壁などを保存し、建設時のままの姿を復元する工事が進められております。華のある古い建築物にあらたな精神を吹き込むことは、大切な文化の継承と言えるでしょう。

平成20年を象徴する漢字は「変」でした。またアメリカ合衆国大統領にオバマ氏が決まり、「change」を唱えました。これから世の中が種々変わっていくことが予測されます。

しかし今号の冒頭に掲載されている写真の学生諸氏をはじめ東京歯科大学の若い教職員の人たちには、変わるものと変わらないもの、変えなくてはいけないものと変えてはいけないものを、しっかりと見極め歩んでいってもらうことを期待しております。変に応じ、よい方向に変化させるエネルギーの潜在能力が、明治時代の若者のように今の若い日本人にも十分にあると信じます。

（広報・公開講座部長：内山健志）



東京駅丸の内駅舎